



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2016年3月 No.406

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『楽しくそして魅力ある活動を！』 国際会長 : 『信念のあるミッション (使命・目標)』 アジア地域会長 : 『愛をもって奉仕しよう』 西日本区理事 : 『あなたならできる！きっとできる』 中西部部長 : 『和を以って貴しとなす』	会 長 : 何 早林 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 中村 幸枝 Y連絡職員 : 池田 聡美

Biblical Message of March

そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。

(ルカによる福音書 23章34節)

「SHP」を知っていますか？

中村 隆幸

SHPとは、Small Hydropower 即ち、小水力発電のことです。私は、昨年、ミャンマーの第二の都市マンダレーのHito Centerで、ミャンマーの若い人たちに、日本語を教えに行ってきました。そこで、たくさんの人との出会いと素晴らしい体験をしてきました。その中の一つが、このSPHというものでした。私は神戸大学名誉教授の大津定美先生にお話をうかがいました。大津先生は、2011年の福島第一原発の後、日本で急速に盛んになった小水力発電に強い関心を持ち、旧知である民主化運動指導者、アウン・サン・スー・チーさんの国であるミャンマーが、今後、急激な経済成長に伴い電力が必要になるであろうと思ったそうです。そしてこの発電システムが、ミャンマーの自然条件と農村の80%以上の世帯が、無電化であるという社会条件に適しているとの認識もとて、「小水力発電をミャンマーの農村に」というNPO法人を2013年に立ち上げました。

このNPO法人は、京都で定期的な研究会を開いており、小水力発電の研究者や、開発会社のスタッフ、そして小水力発電に興味のある一般の人達が集まっています。私も、1月31日の研究会に参加し、なかなか興味深い研究会という印象でした。今後も何らかの形で協力させて頂こうと考えています。

(次号は三浦直之さんです)

March Club Meeting

『EF/JWF』

3月第1例会

日 時 : 2016年3月16日 (水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 中村 隆幸 君

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 開会 | 何 早林 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 山田 孝彦 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 何 早林 会長 |
| 5. 今月の強調月間 | 松浦 孝次 君 |
| 6. 晩餐 | 一同 |
| 7. 卓話「職人とプロフェッショナル」 | 株式会社ミズノマリン・水野茂社長、佐神浩太郎氏 |
| 8. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 10. 閉会 | 何 早林 会長 |

お誕生日 : 岡本麗香、谷川有美子メネット、松浦メン、
 中村珠実メネット

※プレゼントは、巻頭言執筆者の中村隆幸メンがご用意ください。

例会担当 : 3班 : 石津、岡本、谷川、松浦、三浦の各メン

3月第2例会

日 時 : 2016年3月23日 (水) 18:30~20:30

場 所 : 土佐堀YMCA会館4階

【クラブ統計 Statistics】



2月		種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	19名	メ ン	15名	9名	2月	
例会出席	16名	メネット	3名	0名	現 金	2月 : 14,000円
うちメーキャップ	0名	ビジター	0名	0名	累 計	累 計 : 90,946円
出席率	84.2%	ゲ ス ト	4名	0名	切 手	ファンド累計
		合 計	22名	9名	現 金	0円

今年のイースターは3月27日です。イースターは、イエスが十字架にかけられ殺された後、3日目に蘇ったこと（復活）を祝う日です。イエスは、祭司長、律法学者たちに訴えられ、無実の罪で他の犯罪人と共に十字架につけられますが、その十字架上で祈りを捧げています。人々の罪を全て引き受け、敵のために祈り、死を受け入れたイエスの復活は、我々に大事なことを考えさせてくれるのではないだろうか？

(聖句選/コメント：山田 孝彦)

(次号は谷川寛さんです)

2月第1例会報告

と き：2016年2月17日(土) 18:45~20:45

と ころ：大阪 YMCA 会館・403 号室

まだ寒い2月の例会は、“Time of Fast。世界中で飢餓に苦しむ人たちのために1回の食事代を献金に回す例会。22名のゲストを含むメン、メネットが集まり開催されました。

まず山中秀男メンに日本の伝統的な茶道の歴史と精神を語りいただいた後、中村幸枝メネットらにお点前をしていただき、芝田メンが用意してくれた和菓子で、全員がしばしお茶の世界に親しむ時間を持ちました。

その後、大阪 YMCA の中高齢者事業推進室長の大塚由実さんから、「高齢社会の課題に向かう大阪 YMCA の挑戦」と題し、日本の高齢者の現状と YMCA の高齢者事業の考え方、取り組みについてお話しいただきました。日本では身体障害や認知症お年寄りが増え、高齢社会が急速に進むなか、介護スタッフのトレーニングは急務とのこと。大阪 Y では、35年以上にわたって、この分野に取り組み、1997年から特養「サンホーム」(東大阪市)を運営、現在50名の入居者のケアをしているとのこと。

また、ソウル、仁川、上海、香港、台北、台中、シンガポール、ビクトリア、スリランカ、マダガスカルなどの YMCA とメネットワークを築き協働しているとのこと。将来の自身にもかかわることもあり、会場は熱心にメモを取る姿も。5月に入会が予定されている角地正直ファミリーの参加もあり、とても微笑ましい、盛り上がりのある例会でした。

(中村茂高)

≡ ≡ Club Activities (February, 2016) ≡ ≡

On February 17, the venue was changed for our February meeting to a class room of the Osaka Y.

A total of 22 Y's men, Y's menettes, Y'sling and guests gathered. No meals were served for this month, due to the "Time of Fast" program, though we had some Japanese confectioneries at the time of the tea ceremony with Japanese green tea.

We were very happy to welcome Mr. & Mrs. Masanao Kakuchi, professional opera singers who are supposed to join us - probably this May.

The first highlight of the meeting was a Japanese tea ceremony. Before serving tea, Mr. Hideo Yamanaka told us the history and spirit of the traditional Japanese tea ceremony. He also introduced how the "Hatsu-gama" (the first tea ceremony in new year to be served by the head families of the three major tea ceremony schools) were held. Then, all members and guests enjoyed green tea made by our Y's menettes.

The second highlight of the February meeting was a speech made by Mr. Yoshimi Ohtsuka, chief of the training department of the Osaka Y, who is responsible for training staff for the YMCA social welfare facilities.

Since the aging society is progressing so rapidly in Japan, the training of professional staff has become the most urgent matter to take care of the aged - physically challenged and patients suffering from dementia, etc.

The Osaka Y has been challenging this particular field for more than 35 years and it runs its own nursing care home, "Sun Home" in Higashi-Osaka, accommodating 50 aged people at present.

Besides, it has also developed East Asia urban network of the YMCAs for exchanging useful information to tackle with growing needs in many countries, such as Seoul, Incheon, Shanghai, Hong Kong, Taipei, Taichung, Singapore, Victoria, Sri Lanka and Mandalay.

All members and Y's menettes were so impressed with his explanation and many questions followed even after the meeting.

Yen 14,000 was collected at the meeting for the club's niko-niko (smiling fund) .



高齢社会の現状、大阪 Y の取り組みを語る大塚さん



お茶のお点前の所作はさすが！中村幸枝メネット

キリストの受難を描いた ” パッション ” という映画をご覧になりましたか？ キリストが捉えられて鞭打ちの刑と決まり、ゴルゴダの丘まで引き回されるという苦難を描いた映画です。キリストが背負わされた十字架はあまりにも重く、心も体も憔悴しきっていました。

そこでローマの兵士は、たまたま通りすがりのキレネ人のシモンにその十字架を背負わせました。マルコによる福音書 15 : 21 の物語です。キリストの歩んだゴルゴダ (Golgotha) までの道 Via Dolorosa (悲しみの道) は今も存在します。

石畳の狭い道です。写真 (右下)。このキリストの歩んだその道を、現在までにおびたしい数の人々が歩んで来ました。

写真 (下) をご覧ください。画面の左側に、ヘブライ語、アラビア語、そして、ラテン語で Via Dolorosa と表示があり、中央の円形に “V” と記されているのは第 5 Station の意味です。この場所で通りすがりのキレネ人シモンが十字架を担がされました。写真の中央の建物の壁に、「キレネのシモン、十字架を背負う」と書かれています。この Via Dolorosa の道は、第 1 Station から第 13 Station までの表示があります。キリストが十字架を担ぎながら、各 Station 毎にいろいろな出来事に遭遇したことを表しています。最後の第 13 Station がゴルゴダの丘です。そこには、現在は Church of Holy Sepulchre (聖墳墓教会) が建っています。

さて、キリストに代わって無理やりに十字架を背負ったシモンは、キリストの昇天後、「主イエス - この人こそ救主である」ことを知り、郷里の北アフリカに帰って自らの命を賭けて主の福音を伝える伝道者となりました。今年も間もなくイースター (復活節) を迎えます。



イエスの代わりにシモンが十字架を背負った場所

イエスが歩んだゴルゴダへの道

2 月第 2 例会報告

と き : 2 月 24 日 (水) 18:30~20:00

と ころ : 大阪 YMCA 会館 4F

出席者 : 石津、大村、岡本、中村茂、藤井、藤原、何、三浦、山田の各メン

報告/協議事項、

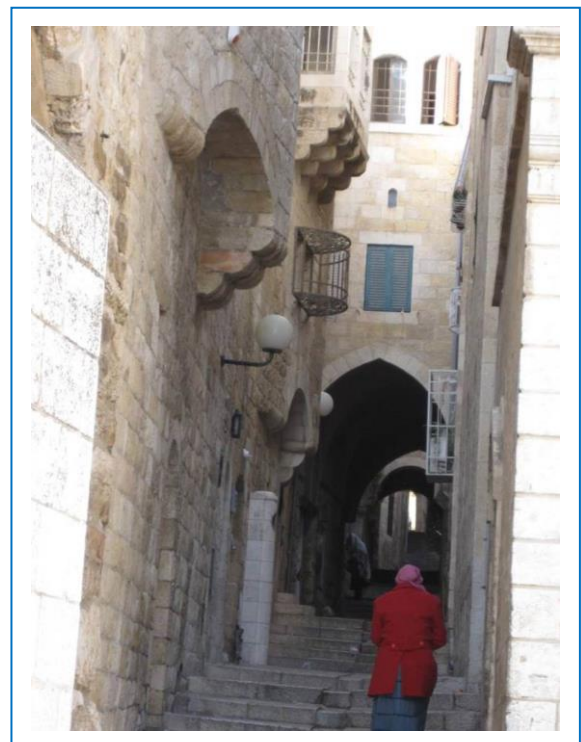
〈ワイズ活動〉

- ① 大阪土佐堀クラブ 65 周年記念例会
4/2 (土) KKR ホテル大阪
- ② 「ワイズの森づくり・うなぎの森植樹祭」
5 月 8 日 (日) 10:00~14:00 場所 : 神峯山寺
- ③ 東日本区大会 6 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日)
申込期間 : 2/25~4/15
場所 : 長野市若里市民文化ホール
- ④ 西日本区大会 6 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)
申込期間 : 5/20
場所 : 松下 IMP ホール
- ⑤ 国際大会・台湾 8 月 4 日 (木) ~ 7 日 (日)
申込締切 : 5/31

〈クラブ〉

- ① チャリティー「ファミリーコンサート 2016」
チケット販売目標 : 大人 300 枚 (現在 200 枚)
紙面広報 (朝日、ファミリーニュース)
- ② 4、5 月の卓話予定
・ 4 月「道具屋筋の新たなチャレンジ」岡野誠司さん他
・ 5 月「ヴォイスピラティスを体験」
音楽家・檀之上美穂さん=確定
角地さん入会式
- ③ 6 月例会「国際金融」谷川メン希望
- ④ 次期役員 : 会長 : 藤井、副会長 : 未定、書記 : 藤原、
会計 : 岡本、EMC : 石津、その他は留任で検討

(第 2 例会議事録より抜粋)





ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ビジターからのメッセージ》

- お茶を通して大変心満たされるお話を聞かせて頂きました。
(角地 正直)
- かって1年習っていた茶道を思い出しました。心引き締まると共に、日本のわびさびのある話題をお聞きして、もっと知りたいと興味が再び湧いてきました。
(中井 祥子)

《会員、メネットからのメッセージ》

- ティーセレモニー、とてもおいしかったです。慌ただし1日でしたが、その1日の終わりにほっと心落ち着く時間となりました。自分の誕生日当日に皆様と一緒に過ごさせて頂けたこと、とても嬉しく、幸せに感じます。
(池田 聡美)
- 2月のTOF例会でお茶と、高齢者に向けてのYMCAの取り組みを聞き、YMCAの事業を知ることができました。
(大村 肇)
- 表コミの生徒さんへ提供しているお茶会をクラブメンバーで体験でき、山中メンのお話、YMCAの大塚さんのお話、ワイズらしい例会でした。
(岡本 剛介)
- TOFでお茶会をするなんてセンテナリアルらしいと思います。本日は角地さんご夫妻とお子様がいらっしゃって嬉しいです。
(坂本 千春)
- 山中メンのお茶の歴史の卓話、勉強になりました。YMCA大塚室長様の卓話も勉強になりました。
(芝田 光雄)
- 久しぶりに大阪Yでの例会、気分が変わり楽しい例会でした。角地さんご夫妻の参加も歓迎します。高齢者福祉のお話も参考になりました。
(谷川 寛)
- 優雅なTOF例会でした。茶会の段取りもよくなりました。角地さんご夫妻もようこそ。
(中村 幸枝)
- 簡素で心が通い合う素敵なお茶会でした。いつもながらの中村メネットほかメネットの皆様のお働きに感謝致します。知識の泉から溢れ出るような山中メンのお話、お茶会にぴったりでした。高齢化社会におけるYMCA取組み、大塚室長のお話で改めてYMCAの事業の深さを知りました。角地さんご夫妻、ようこそ！一緒にワイズソングが歌えることを今から楽しみにしております。
(藤原 正巳)
- 美味しいお茶とお菓子を頂くことができ幸せです。山中メンのお話、とても勉強になりました。
(何 早 林)
- お抹茶を頂いて感激しました。山中メンの解説も流石と感嘆。大塚さんの卓話で改めて高齢社会の真っ只中にあることを実感しました。
(松浦 孝次)
- 年に1回のTOF例会です。今月はティーセレモニーとして茶道を体験しました。至福の時を味わいました。
・角地さん、入会をお待ちしています。
(三浦 直之)
- 2月は”Time of Fast”の月。平和で豊かな社会に生かされている自分にひたすら感謝して生きる日々です。今日ここに集ったYsの仲間と共にその幸せを味わっています。
(山田 孝彦)
- TOF 大変意義深い卓話、イベントを用意して頂き、有難うございました。嬉しい話が一つ、孫の嘉斎(カイ)が **nines (400年以上続く英国の9つの伝統校)** の1つ **St. Paul** に入学できました。感謝です。
(山中 秀男)
- 香の薫りを聴きながらのお茶会、有難うございました。
(山中ちあき)



お茶の世界を興味深く話す山中秀男メン

YMCAニュース

☆第275回早天祈祷会

日時：3月18日(金) 7:30~8:30
証し：佐竹博さん
(大阪YMCA ウェルネス事業本部部長)
場所：大阪YMCA 会館 10階チャペル

☆児童発達支援事業「サポートキッズ」

4月開設記念講演会
日時：4月22日(金) 10:00~11:20
場所：大阪南YMCA
講演者：伊丹昌一氏(梅花女子大学教授)
テーマ：幼児期にしておいた方がいいこと
*お申し込みが必要です。
<http://www.osakaymca.or.jp/event/event20160422.pdf>

(池田 聡美)

後 記

私は仕事で長年お茶会の催しをやってきましたが、知らないことで、ずいぶんとはずかしい思いもしてきました。特に宗匠の前でお茶を頂戴するときは冷や汗ものです。山中メンのお話は初めて聞くもので、とても興味深いものでした。次回はぜひ寄稿をお願いしたいところで

3月はいよいよファミリーコンサートの開催です。
角地夫妻の力をお借りし、がんばりましょう!

S.N